

行動援護従業者養成研修（令和4年9月17日開講富雄教室クラス）

| 区分 | 日時 | 科目 | 目的 | 内容 | 時間数 | | |
|-------------|-----------------|--------------------------------|---|--|--|-----------------------|-----|
| 講義 10時間 | 9月17日(土) | 9:00～ 9:30 | 開講式 | 正しく学習するために 受講の流れを理解する | | 0.5 | |
| | | 9:30～ 15:00 (休憩時間30分を含む) | 強度行動障害に関する制度及び 支援技術の基礎的な知識に関する 講義 | 強度行動障害をめぐる 制度について理解する。 障害特性を理解した適切な 支援についての基本的な知識、 PDCA(構造化、記録と再計画)、 支援手順書について理解する。 | 強度行動障害と制度 構造化 支援の基本的な 枠組みと記録 虐待防止と身体拘束 実践報告 | 5 | |
| | 9月18日(日) | 15:00～ 18:00 | 強度行動障害のある者へのチーム 支援 | チーム支援についての 理解を深める。 | 強度行動障害支援 の原則 | 3 | |
| | | 9:00～ 10:30 | 強度行動障害がある者の基本理解 に関する講義 | 強度行動障害について理解し、 医療との連携について学ぶ | 強度行動障害とは 強度行動障害と医療 | 1.5 | |
| | 演習 14時間 | 9月18日(日) | 10:30～ 11:00 | 強度行動障害と 生活の組み立て | 生活の様々な場面での 支援について学ぶ | 行動障害のある人の 生活と支援の実際 | 0.5 |
| | | | 11:00～12:00 | 基本的な情報収集 と記録等の共有 | 強度行動障害者支援の重要性の 理解と固有の障害特性に 関する知識を深める。 行動の背景を考える。 | 情報収集とチーム プレイの基本 | 1 |
| | | | 12:30～15:30 | 行動障害がある者の 固有の コミュニケーション の理解 | | 固有の コミュニケーション | 3 |
| | | 15:30～ 17:00 | 行動障害の背景に ある特性の理解 | 行動障害の背景に あるもの | | 1.5 | |
| | | 9月19日(月) | 9:00～ 12:00 | 障害特性の理解と アセスメント | <ul style="list-style-type: none"> ・障害特性に配慮した 支援計画の立案 ・支援の手順書の作成、 支援者への適切な伝達 ・記録の方法 ・支援の手順書の修正 等について実際の 演習を通じて学ぶ | 障害特性の アセスメント | 3 |
| | | | 12:30～ 15:30 | 環境調整による 強度行動障害の支 援 | | 構造化の 考え方と方法 | 3 |
| 15:30～17:00 | 記録に基づく支援 の評価 | | 記録の収集と分析 | 1.5 | | | |
| 17:00～18:00 | 危機対応と 虐待防止 | | 危機対応と虐待防止について 理解を深める | 危機対応と虐待防止 | | 1 | |
| | 18:00～ | 閉講式 | 研修を振り返り、 学習内容を再確認する | 研修のまとめ・修了証 書授与 | 0.5 | | |
| | | | | | 25 | | |